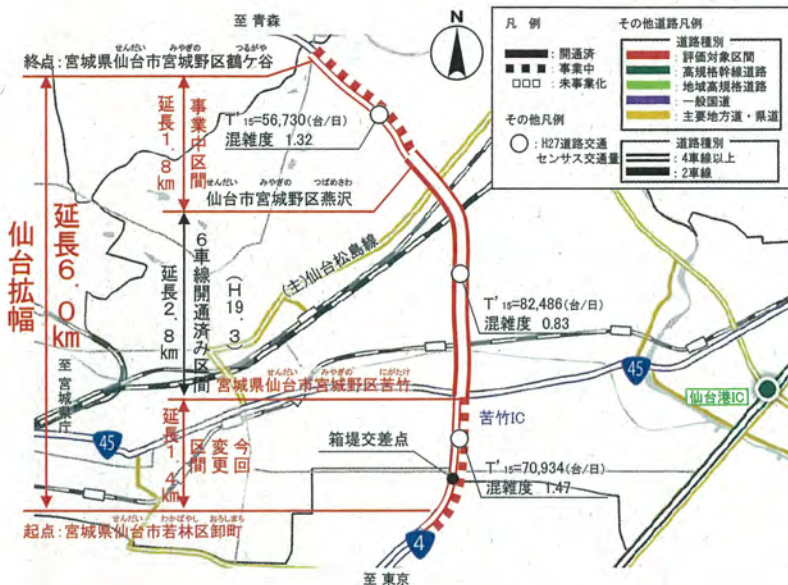


地域連携で国も動かし、よりよい市民生活の実現へ向け前進しています！

▶ 国道4号線バイパスの拡幅工事

平成27年、29年、31年の定例会・予算審査特別委員会や宮城県知事との懇談など継続的な訴えの結果、国道4号線の慢性的渋滞緩和、また津波避難の備えのための拡幅・高架化(苦竹IC~卸町の1.4km)が決定しました。将来の他区間に関する構想についても進めます！



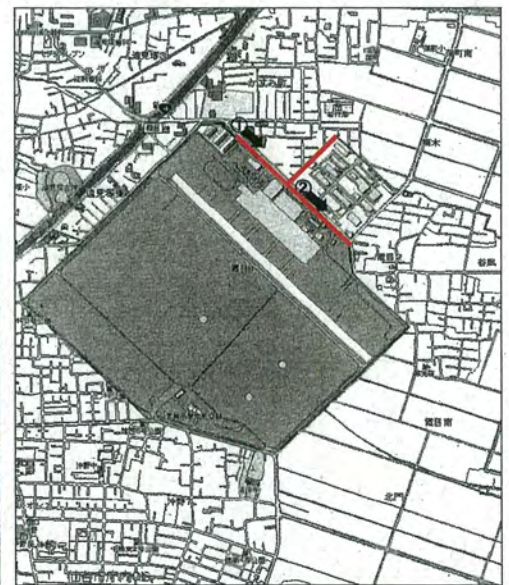
▶ 仙台市東部ほ場整備地区の交通事故防止対策

ほ場整備後、六郷・七郷地区で拡張された農道は交通量が増加し車両等のスピードも上がったため、交差点で交通事故が多発し、早急な事故防止対策の要望がありました。市や県、国に働きかけ、路面標示と一時停止標識を設置しました。



▶ 霞目駐屯地周囲の道路改修に係る交付金の確保等

霞目駐屯地の周囲の道路環境は大きく変わり、安全に関する課題がありました。また、災害時には地域住民の安全と救助と物資の拠点となる霞目駐屯地の機能発揮のため、地域と一体となって市と国に具体的な構想を提示し、国からの交付金が決定しました。周辺地域は半世紀ぶりの大規模な改修となります。今年度は調査・設計。数年内の工事着手を目指します。



▶ 国道4号線・蒲町歩道橋の改修

仙台市若林区蒲町及び大和町5丁目にまたがる蒲町歩道橋は、建設から長い年月が経ち老朽化して、特に自転車や車いす、ベビーカー等が移動するスロープ面が摩耗していたため滑りやすく、負傷の事案が多数発生していました。また腐食等による歩行時の揺れ、地震など災害時の不安など、数多くの問題が生じていました。

町内会とPTAが一体となり、市と国へ働きかけを行い、改修が実現しました。



## 日常も災害時も市民の命をつなぐ 都市計画道路などの整備

市民生活を支える交通体系や災害対応力を向上させる道路ネットワーク（骨格幹線道路）の一部として、都市計画道路「宮沢根白石線」の整備を進めています。今年度は、南鍛冶町区の橋梁工事（令和2年（2020年）3月頃完了予定）と、舟丁工区の水路と道路工事を進め、令和4年（2022年）3月頃の完成を目指します。



また、今年11月頃からは、宮沢橋の架け替え工事に着手し、令和6年（2024年）度内での道路開通を目指します。（開通後、旧橋は撤去）。

地域住民の皆さんへの丁寧なご説明や橋梁・道路周辺の空地の有効活用について求めています。

## 地域の皆さまのお声を受けて、生活環境の改善・整備が着々と進んでいます！

### 地下鉄駅への要望対応

風雪時、バス待ちが厳しいとご指摘のあった地下鉄東西線の薬師堂・荒井・八木山の各ターミナル駅に、構内での待合に便利なバス時刻表示器と、ベンチを設置してもらいました。



### 地域・学校と共に歩む商店街のにぎわい創出

仙台の歴史を紡いできた地域商店は地域の安全、まちなみ風致の維持にも貢献しており、仙台市の財産のひとつです。

仙台に増える来訪者、地下鉄東西線の開通、東北学院大学の仙台市立病院跡地への移転を見据え、6年前から地域商店会の皆さまと持続可能な地域商店会のあり方を検討し、むにゃむにゃ・連坊・薬師堂の三つの商店街の自助力アップのため、商店街共通課題解決モデル事業を実施しました。

今後もしリノベーションなど、地域商店街の振興に取り組んでいきます。



### 若林中央・松原公会堂の建替

防災・減災はもちろんのこと、普段の防犯や事故の未然防止、お互いの助け合いのため必要性が見直されている自助・共助・公助、そしてご近所の力。

大正の建築で使用できなくなっていた旧松原公会堂を町内会と連携して建て直し、安全で安心な地域コミュニティ形成を進めています。



### その他 当地区の諸案件（一部）

- 災害時に避難所となる学校の酷暑対策を、昨年8月に総理に要望し、全国の学校へのエアコン設置が実現。仙台市では全中学校の年度内完成を目指します。小学校・高等学校117校も、年度内に全校発注予定。荒井小と大和小学校は当初より設置
- 空き家条例を適用した若林地区の空き家の撤去。防犯・防火、雑草の問題などを改善。
- 大和町1丁目T字路のカーブミラー移設。
- 町内会などへの防犯カメラの設置補助制度の新設
- 仙台大橋周辺河川緑地の改善・西側地区への車両進入許可制度の新設。新トイレを調整中。
- 卸町5丁目公園への駐車場の暫定整備。
- 宮千代3丁目谷内館公園の使用環境の改善。
- 大和町2丁目事故多発交差点に一時停止標識の設置と停止線の標示。
- 地域の安全を守る河原町消防分署前の白線明示
- 通学路である八軒小路踏切の安全化要望

公式ウェブサイト



<https://www.kiku-taka.jp/>